

小径管溶接部用PA-UT装置 (自動探傷・自動判定装置)



写真1. オービタル溶接部用PA-UT装置

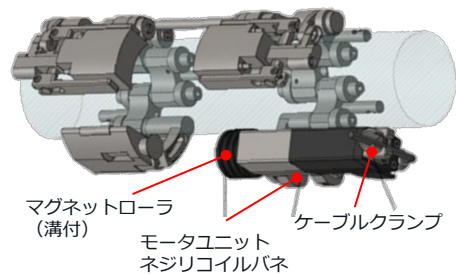
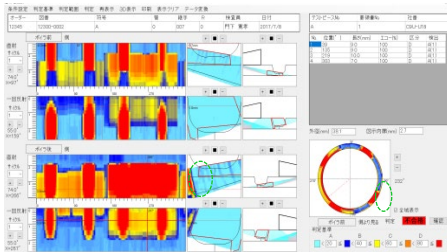
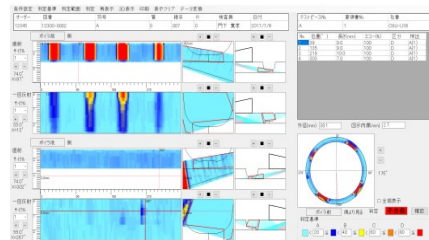


写真2 360°自動回転式PAスキャナー装着状況



【判定範囲設定(Contour) 設定前】

判定範囲設定を行わず判定を行うと裏波や余盛の情報(形状エコー部)も表示・判定に取込まれ、全体的に不合格と表示されてしまう。



【判定範囲設定(Contour) 設定後】

判定範囲設定を行う事で、形状エコーによる表示を外す事が出来、溶接部のキズのみを表示し判定する事が出来る。

図.1 PA-UT自動判定解析プログラム

安心・安全・未来！検査のコトなら MPW-ITEC へ
お任せください

【装置概要】

- 360°回転式PAスキャナーは、PA探傷器と組み合わせて使用して、小口径パイプの円周溶接部の探傷を行います。
- このスキャナーは、外径28mmから63.5mmのパイプ検査に使用でき、ふたつのPAプローブを同時に装着できます。



装置の特徴

ハードウェア

- ・ 外径28.6mm～63.5mmのパイプに対応（t2.7mm～12.0mm）
- ・ 30mm※の隙間さえあれば、障害物が隣接していても容易に設置・探傷が可能
- ・ 2個のフェーズドアレイプローブを装着することで溶接部を両側から検査可能
- ・ スキャナーを2つに分解できるので溶接線の片側からの探傷が可能
- ・ パイプの円周に一定圧力で固定
- ・ 滑らかなスキャニングと横滑り防止のためのウレタン製車輪
- ・ すばやく簡単に交換できるウェッジとプローブ
- ・ プローブ間の距離は0 mm～45 mmで調整可能
- ・ パイプの表半面から自動及び手動にて全周のスキャニングが可能
- ・ パイプの磁性を選ばないバネによる固定方式
- ・ 32ステップ/mmのエンコーダー
- ・ 360°回転式自動PAスキャナー(写真1、2参照) (※) 取付状況で15mmでも可能
(自動回転装置を取外した場合)

ソフトウェア

- ・ PA-UT自動判定解析プログラム採用(図.1参照)
評価対象範囲内の探傷画像を表示及び設定
開先の形状（種類）を設定できる
きずの表示、合否判定を表示できる

その他

- ・ ハイブリッド探傷システム（バッテリー又は100V電源）（写真1）
- ・ コンパクト、軽量、ポータブル
- ・ 外来ノイズに強く、溶接機等のノイズの影響を受けにくい
- ・ タッチスクリーン（探傷器）、（タブレット）
- ・ 防塵・防水性能、CE規格準拠

お問い合わせ

弊社のお客様窓口まで、お気軽にご相談ください。

[お客様お問い合わせフォーム](#) ▶

